別添

《カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）感染症の発生について》

➢ CRE とは

CRE とは、「Carbapenem-Resistant Enterobacteriaceae」の略で、メロペネムなどのカルバペネム系抗菌薬に対し耐性を獲得した多くの抗菌薬が効きにくい、肺炎桿菌（かんきん）や大腸菌等を言います。

CRE は、一度、感染症を引き起こすと治療できる抗菌剤が限られるため、治療が難しくなります。

また、腸内細菌科細菌はもともと腸内に棲息しやすい菌種であるため、ヒトの腸内に長く定着する性質を持ち、健康なヒトの腸内に耐性を獲得した CRE が住み着くことがありますが、健康に日常生活を送っている方には無害です。

➢ CRE が引き起こす病気

CRE は、肺炎や尿路感染症などの原因となる場合が多く、手術後の患者では、創部の感染症や腹膜炎、膿瘍などの原因になることもあります。さらに、血液中に侵入し敗血症などを引き起こすことがあり、警戒されています。

➢ 感染症防止のポイント

CRE の感染経路は、ヒトの手や手すり等を介する接触感染です。

健康な日常生活を送っている方が感染した場合、CRE はほぼ無害なので、過度な心配はいりません。ただし、抗生物質等を服用している方の場合は、医師の指示を正しく守る必要があります。

CRE が検出された患者の喀痰や便などの処置や処理の際には、手袋を用い、処置の終了後には、石けん等で手指を洗えば問題ありません。